

科目名	特別なニーズ教育と保育（保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	市川 和彦				
内容および計画	障がい児への適切な保育・教育を行うためには、多様な障がいの特性と具体的関り方についての学習とトレーニングが必要となる。その方法として視聴覚教材や事例検討、ロールプレイなどのアクティブラーニングによる学習方法を取り入れ実践力を養い、家族、特に親に対する支援の実際、園と関係機関をコーディネートする方法や連携の実際、あり方について学ぶ。また、幼稚園や特別支援学校における教育課程、個別の教育支援計画についての理解を深める。さらに学生が保育・教育現場に出て特に重要な子どもの心理的特性、学習過程をも含んだ子ども同士、対保育者などの他者とのかかわりについて取り上げる。				
1	障がいの概念と多様な障がいの理解				
2	障がい児保育と教育の歴史 障がい児保育・特別支援教育を支える理念と制度				
3	障がいの理解 1) 身体障がい①視覚・聴覚・言語障がいの理解と関り				
4	障がいの理解 2) 身体障がい②肢体不自由・重症心身障がいの理解と関り				
5	障がいの理解 3) 発達障がい ①自閉症スペクトラムの特性と関り				
6	障がいの理解 3) 発達障がい ②ADHD、LD、その他の発達障がいの特性と関わり				
7	障がいの理解 5) 知的障がい 知的障がいの特性と関わり				
8	障がいの理解 6) その他の障がいと特別なニーズ ①内部障がい、難病、てんかん、病弱児、母国語・貧困の問題を含む子どもの理解と関わり				
9	インクルーシブ教育とその方法（通級、構造化、リソースルームなどの配慮、自立活動を支援する具体的取組）				
10	特別な支援を必要とする幼児・児童の教育課程				
11	生涯にわたる個別計画（個別の教育支援計画、個別支援計画、保育課程、記録及び評価方法を含む）				
12	地域の拠点としての特別支援学校と保育所の役割（特別支援教育コーディネーターの役割と他機関との連携を含む）				
13	親や家族に対する理解と支援				
14	障がい児保育・教育の運営（保育者の連携と質の向上、障がい児の健康と安全を含む）				
15	障がい児保育・教育を取り巻く現代の課題				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	幼稚園教育要領<平成29年告示>	文部科学省		978-4577814222	
	保育所保育指針<平成29年告示>	厚生労働省		978-4577814239	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告示>	内閣府		978-4577814246	
	虐待のない支援ー知的障害の理解と関わり合いー	市川和彦	誠信書房	978-4-414-60139-8	2007
参考書	『虐待のない支援ー知的障害の理解と関わり合いー』 市川和彦、誠信書房。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
総合評価レポート					90%

課題別レポート	10%
学習到達目標	幼稚園や保育所、通常の学校に在籍している発達障がいをはじめ、特別の支援を必要とする幼児、児童の障がい特性及び心身の発達についてを学び、学習上、または生活上の困難を克服していくための具体的教育方法と家族、地域も含んだ人的または関係機関との連携を通じた支援について理解し、生涯にわたって生きる力を身に付けていくための具体的知識と支援について理解する。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：障害児入所施設に4年、障がい者支援施設に8年、児童養護施設に3年間、児童指導員、生活支援員として身を置き、ケアワーク、ソーシャルワークに従事してきた。
その他	